



年頭にあたりご挨拶

一般社団法人 岩手県測量設計業協会
会 長 田口 敬芳

新年あけましておめでとうございます。令和6年度は東日本大震災津波の復興完遂による建設投資額の減少、防災減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の4年目であり、事業費が残り少なくなっております。そうした環境下で技術者単価は今年度も上昇いたしました、その事は大変ありがたいのですが、投資額が増えなければ、ますます事業量が減る結果となります。

現在の総合評価入札制度による落札結果は、総合評価点のトップの企業以外は受注に苦しみ、大変残念であります。業界のリーダーであった会員が昨年10月末に業務の受注不足による破産・廃業に追い込まれたのであります。

昨年8月の豪雨災害では、廃業した会員を含めて、ぎりぎりいっぱいに対応できました。このままでは使命をはたすことが出来なくなることが危惧されます。

政治状況は、衆議院議員総選挙の結果少数与党になり、予算委員長に野党が就任等、予算審議に与える影響が懸念されております。補正予算の早期成立による翌債事業発注、本予算・年度内成立による早期発注、私共測量設計業を含む建設関係業界への影響は、非常に大きなものとなります。与野党の協力で国家国民の為、早期の予算成立と建設投資額の増額を期待するものであります。

国では国土強靱化実施中期計画の年度内の策定を目指しており、決定がなされれば、地方自治体で国土強靱化地域計画を定めることが出来ます。

岩手県県土整備部では、令和7年4月1日施行に向けて、入札制度の改正を検討しており、受注の偏りが緩和されるものと期待をいたしております。

(一社)岩手県測量設計業協会では経営基盤の強化、安定的な経営、ワークライフバランスの実現、従業員の継続雇用、賃金アップ、担い手の確保育成に取り組んでまいります。いずれの目標も必要業務量の確保と、生産性の向上が不可欠となります。事業量を確保し実務で経験を積む事で、担い手の育成、技術の承継が出来ます。

近年激甚化、勃発化する災害に対応するために、会員を一社も減らしてはならないと考えております。協会主催の技術研修会並びに各社の研修により、品質の確保、技術力の向上、新技術の導入を推進し、発注者の良きパートナーとなれる様に、私共の使命であります「地域の守り手として地域住民の安全・安心な暮らしの確保」に向けて会員一同全力で取り組んでいかなければなりません。

発注ご当局に対し継続して現在の実情を丁寧にお伝えし、地元企業への理解を深めていただきたいと思います。と思っております。

最後になりましたが、会員各位のご努力に敬意を表し、また災害対応のご協力に感謝を申し上げます。

この様な大変な受注環境ではありますが、今年一年皆様方のご奮闘とご活躍・ご隆盛そして県民皆様のご多幸を、こころからご祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。